

## 警戒レベルの運用による避難勧告などの発令

政府は平成30年7月豪雨の教訓を活かし、今年度の出水期より警戒レベルを用いた分かりやすい防災情報の提供を開始する指針を公表しました。五城目町においても、本年度より警戒レベルを用いて防災情報を発信していきます。

警戒レベルは、5段階のレベル分けで危険度を分かりやすく示し、災害発生時に早期避難など命を守る最前の行動をとるよう促すためのものであり、町民の皆さんがとるべき行動は次のとおりとなっています。詳しくは、気象庁や町のホームページをご覧ください。

警戒レベル	皆さんがとる行動	皆さんに行動を促す情報	情報発信元
5	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする。	災害発生情報	五城目町
4	速やかに避難先に避難する。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。	避難勧告 避難指示（緊急）	五城目町
3	高齢者等の避難に時間を要する人とその支援者は避難する。その他の人は、避難の準備をする。	避難準備・高齢者等避難開始	五城目町
2	避難に備え、ハザードマップ等により、自ら避難行動を確認する。	洪水注意報 大雨注意報等	気象庁
1	災害への心構えを高める。	早期注意情報	気象庁

※この他、町が「警戒レベル3～5」を出す目安となる気象庁の警報や土砂災害情報などは、「警戒レベル3～5相当情報」を用いて発信されます。

## 簡易水位計(危機管理型水位計)を設置

県では、簡易水位計(危機管理型水位計)を以下の4箇所の橋に設置しました。

これらの水位計は、既存の久保、黒土の水位計と異なり、水位が上昇し洪水が心配された場合に水位データを送信してくる仕組みです。水位データは、既存のものと同様、県ホームページの「秋田県河川砂防情報システム」で閲覧できます。



	難判断支援水位	河岸高
1. 竜馬橋(大川)	2.7m	5.4m
2. 昭辰橋(昭辰町)	3.7m	6.7m
3. 中屋敷橋(平ノ下)	1.7m	3.6m
4. 富田橋(富田)	1.0m	2.4m

※河岸高は水位計設置周辺で最も低い場所。避難判断支援水位は閲覧する際の目安で、今後変更となる場合があります。

## 町公式ツイッターアカウントで災害・緊急情報等を発信します

町では、公式ツイッター(Twitter)アカウントを開設し、町ホームページや町フェイスブックアカウントと連携しながら、災害・緊急情報等を発信していきます。

アクセスは、ツイッター上で「@gojome\_akita」と検索または町ホームページトップのバナーをクリックしてください。



お問い合わせ 町住民生活課 (☎852・5112)

## 5・26 5月26日 もしもの災害に備えて町総合防災訓練を実施

5月26日の「県民防災の日」に合わせて、町総合防災訓練を実施しました。訓練は、断続的な降雨により町内に「土砂災害警戒情報」が発表され、馬場目地区の住民に土砂災害に関する「避難勧告」を発令するという想定で行いました。

訓練には町民180人が参加し、4つの指定避難所「町民センター・広域体育館・温水プール」、「五城目第一中学校」、「馬場目地区公民館」、「杉沢交流センター友愛館」への避難や、避難所の開設などを行いました。

また、介護老人保健施設「湖東老健」の入所者と職員による五城目第一中学校への緊急避難の訓練や、4月から運用を開始した防災行政無線を用いた各地区への避難開始の呼びかけの放送、子局ごとに周辺へ放送が可能な拡声器機能、専用電話機能のテストなども行いました。



昨年5月の豪雨災害を教訓に、介護老人福祉施設等の入居者の避難訓練も実施しました



防災行政無線を使用し、地区の住民へ呼びかけを行う「拡声器機能」や、町役場と連絡を行う「専用電話機能」などを確認しました



災害ボランティアセンターの開設、避難所の開設運営や炊き出しなどを行い、緊急時の行動を確認しました

## 6・11 6月11日 町消防本部救助隊が県救助技術大会で上位入賞

6月11日、秋田市の県立総合プールで「第48回消防救助技術大会 水上の部」が開催されました。

町消防本部からは、水中の行方不明者の捜索を想定した「複合検索」と水中での救助を想定した「人命救助」にそれぞれ出場。どちらの種目でも上位入賞を果たし、今月18日に宮城県で開催される東北大会への出場が決まりました。

大会に出場した今川貴博副士長は、「訓練を通じて学んだことを災害活動等に活かし、町民の生命や財産を守っていきたい」と話していました。

### ▶消防救助技術大会水上の部 結果

- 人命救助 第1位 町消防本部チーム(今川貴博副士長、近藤哲矢消防士、舘岡拓海消防士)
- 複合検索 第2位 菊地航平消防士



左から、菊地消防士、今川副士長、舘岡消防士、近藤消防士。今月18日に宮城県で開催される東北大会へ出場します。(上)水中の要救助者の救出を想定した「人命救助」(右)

